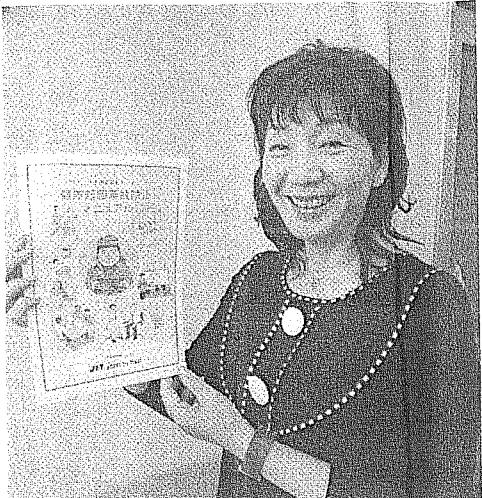


(3) 2014年(平成26年)6月2日(月曜日)

## OCHIS 「健康起因事故防止マニュアル」作成 独自ノウハウで実務性増



マニュアルを持つ作本貢

ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は、全ト協の依頼を受けてトランクドライバーの「健康起因事故防止マニュアル」を作成した。同マニュアルの活用方法や健康管理対策の重要性、考え方などについて、作本貢子副理事長に話を聞いた。

今回のマニュアルは、定期健康診断の実施と有効活用、ドライバーの生活習慣と予防のポイントなど7項目で構成されている。全

44ページを全ト協のホームページから会員限定でダウンロードできる。

従来、このようなマニュアルはあったが、OCHISが健康管理のノウハウを盛り込んだことで、より実務的になっている。作本副理事長は「健康管理なくして事故防止など言っている昨今だが、対策として何をどうしたらよいか分からぬという事業者も多い。このマニュアルの中のチェックシート

のままにするのではなく、実際に対策を講じることの重要性や、コンビニでの食事の選び込んだことで、より実務的になっており、健康記載されており、健康方なども分かりやすく記載されることで、非常に重要な要」と強調する。

健康診断の結果をそのままにするのではなく、実際に対策を講じることの重要性や、コンビニでの食事の選び込みたことで、より実務的になつていて。作本副理事長は「健康管理なくして事故防止など言っている昨今だが、対策として何をどうしたらよいか分からぬという事業者も多い。このマニュアルの中のチェックシート

(木村麻理奈)

マニュアルに盛り込んだ。「中高年のドライバーが増えており、健康管理がより求められてくる中で真摯に対策と向き合い、ドライバーを育成することでき業界全体の底上げをする必要がある。ただマニュアルを読むだけではなく、日々の健康管理に生かしてほしい」とアピールする。